

# 誠・愛・勇

学校教育目標 【たくましく未来を拓く牧中生】  
 重点目標 【踏み出す私 (まんざらでもない私)】



1年芸術鑑賞教室

〈牧之原市東萩間2079-9 TEL0548 (27) 2803 FAX0548 (27) 3578 E-Mail wbs14411@mail.wbs.ne.jp〉

## 後期学校評価アンケートに御協力ありがとうございます。主なものを報告させていただきます。

### 教育目標1 「学校が楽しいと答えた生徒が90%以上」について

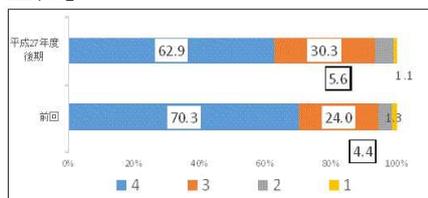
資料の見方：

上段が今回、下段が前回（1学期末）の結果です。4は、満足 3は、概ね満足 2は、やや不満 1は不満

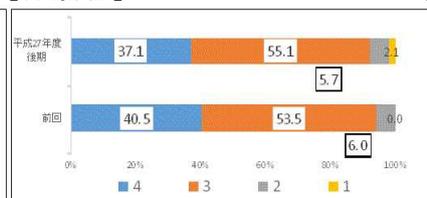
まず、今回調査（上段）の結果を見てみます。生徒では4（満足）と3（概ね満足）の合計が93.3%、保護者では92.2%、教師では100%となっています。この結果から見ると、目標は概ね達成できたと考えられます。しかしながら、各項目の変化、前回との変化を見てみると「生徒・保護者・教師ともに、4（満足）が減少し、3（概ね満足）が増加しています。特に、教師の変化が大きい」ことが気になります。その原因としてあげられていたのが、「友人関係が上手くいっていない」と言う点です。特に2学期は学級での活動時間が増えたり、部活動が自分たちの中心になったりと、自分と集団の関係が変わる時期でもあります。また、中学生においては、成長期で心身の変化が生じる時期でもあります。集団での生活をとおして、社会性・集団性を学ぶ場があります。その学びの過程において、「つまずき」はあると思います。しかし、その「つまずき」を成長の糧にできるよう、家庭・学校で歩調を合わせ、支援していけるようにしたいです。

### 【資料1】友だちと楽しく学校に来ることができたか

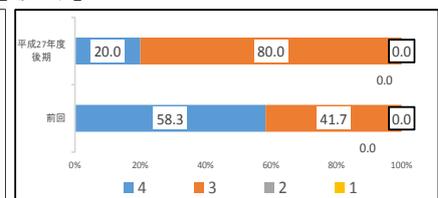
#### 【生徒】



#### 【保護者】



#### 【教師】



### 教育目標2：「授業がわかる」と答える生徒が90%以上

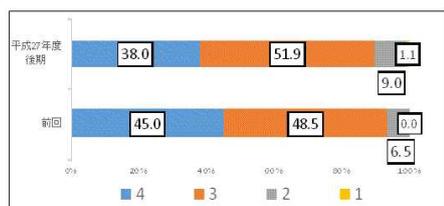
今回の調査結果を見てみると、生徒は4（満足）と3（概ね満足）の合計が89.9%、保護者が62.7%、教師が100%となっています。生徒では、4（満足）が38%と高い割合を示していますし、3（概ね満足）と合わせると89.9%となります。しかし、保護者では2（やや不満）の割合が多くなり、1（不満）も見られます。コメントにも「学習支援を充実して欲しい」「分からないことを聞ける時間を作って欲しい」と学習の定着に対する要望が多かったです。教師の方も3（概ね満足）が多数であり、教師も学習内容の定着に課題があると認知していることが分かります。

以上のことから、「生徒は授業内容は概ね理解している。」しかし「テストの結果など学習内容の定着に反映していない」ということが課題として挙げられます。

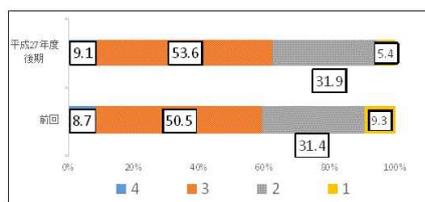
このような結果から考察すると、数値的には概ね達成できているが、より一層の改善を求められていると判断されます。本年度、本校では基礎学力を高めるために「校内検定」「コラム」「自主学習の充実」「授業の最後に学習したことのまとめをきちんと行う」などの手立てを組んでみました。この成果は、静岡県学力調査で無答率が低い、集団としては正答率が例年に比べ若干高いという成果を生んでいます。最も大切なのは、「学ぶ」ことへの動機付けです。「なぜ、学ぶのか」ということが明確になるようキャリア教育も大切にしたいです。

## 【資料 2】 授業内容がわかる

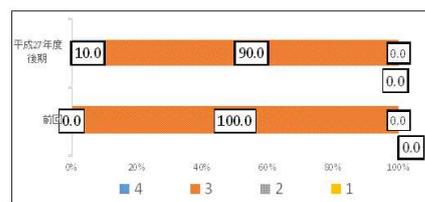
### 【生徒】



### 【保護者】



### 【教師】



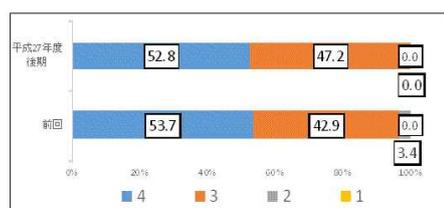
## 教育目標 3 : 「信頼できる先生がいる」と答える生徒が 90%以上

資料 3 の「先生の言葉に納得することは多かったか」という問いかけに、今回の調査結果を見てみると、生徒は 4（満足）と 3（概ね満足）の合計が 100%、保護者が 94.6%、教師が 100% となっています。この高い数値から、素直な生徒、学校教育に理解の深い保護者という恵まれた環境の中で、教師がきちんと指導できたということがわかります。（教師は、「話していることが納得されていると思うか」という質問）また、資料 5 の「教師は間違っただけに対してきちんと指導しているか」という問いかけにも、生徒は 80.2%、保護者は 81.4% が 4（間違っただけをしている生徒いない）、3（間違っただけに対してきちんと指導している）と答えています。この数値から見ると目標は概ね達成していると考えます。

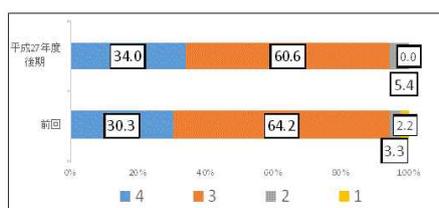
しかし、資料 4 では生徒・保護者とも 4 が減り 3 が増えてきています。このことは「学期が進むにつれて、それなりに指導する場面があった。そして、その指導を生徒は肯定的に捉え受け入れてくれる」ということと思われます。社会の多様化に伴い生徒や保護者の考え方も複雑になっている現代社会の中で、学校が示す価値観を肯定的に受け入れてくれるという本校の生徒・保護者・地域はとてありがたいと思います。このような環境を大切に、生徒により一層、質の高い教育を提供できるようにしていきたいと思ひます。

## 【資料 3】 先生の言葉に納得できるか

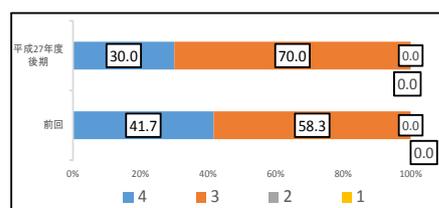
### 【生徒】



### 【保護者】

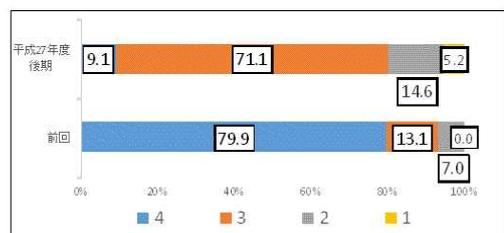


### 【教師】



## 【資料 4】 職員は間違っただけに対してきちんと指導しているか

### 【生徒】



### 【保護者】

